

だんだん通信 2 月号

だんだん通信は、365日オープンのだんだんテラスで起きている日々のできごとや地域の情報を発信するための通信紙です。



新しい年を迎えて

「どんど焼き」は、正月の松飾りやしめ縄などを家々から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという、全国に伝わるお正月の火祭り行事です。新年の挨拶を交わす人、餅つきに参加する人、豚汁をおいしそうに食べる人、お酒で出来上がっている人……一人ひとりにとって、良い一年でありますように。

男山 やってみよう会議

3/11 やってみよう祭り開催！

住みたい、住み続けたい男山地域であるために、幅広い世代が集い、まちづくりについて話し合い、具体的な取組みを重ねる「男山やってみよう会議」今年も「やってみよう祭り」と題し、報告会を開催します。

■ 予定

火曜日健康麻雀やっています！

実施日：第1・第4火曜日
時 間：13:30～16:30
場 所：だんだんテラス
参加費：100円
内 容：飲まない！吸わない！賭けない！
頭や指先を使って健康になるための麻雀を開催します！初心者も歓迎！

手作り市 and フリマーケット

実施日：2月8日（水）
時 間：10:00～15:00
場 所：男山中央センター商店街
内 容：ものづくりをする人、手作り品が好きな人が地域で交流できる場づくりを目的として手作り市を開催します。

第2・4土曜住まいの相談会

実施日：2月11日、25日（土）
時 間：14:00～17:00
主 催：だんだんテラス
京都府建築士会
場 所：だんだんテラス
申 込：不要

DIY チャレンジ - 床貼り体験 -

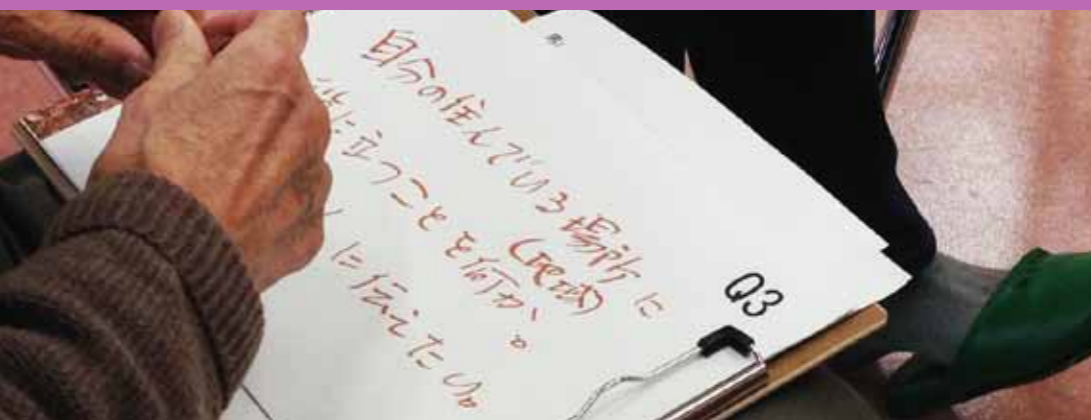
実施日：2月18日（土）
時 間：10:00～17:00
主 催：だんだんテラス
京都府建築士会
場 所：だんだんテラス
申 込：不要
内 容：DIY モデルルームで実際にDIYを体験してみませんか？今回は既存の床の上から簡単に貼れる床貼り体験です。

唱歌&フォーク好き集まれ！

〈だんだんみんなで歌ってみよう〉
日 時：2月15日（水）10:30～11:30
場 所：だんだんテラス
内 容：やさしいおなじみの歌をみんなで歌います。ギター演奏、歌詞カードあります。

〈だんだんフォーク〉

日 時：2月26日（日）14:00～16:00
場 所：だんだんテラス
内 容：弾き語りをしたい人集まれ！
各自の練習や情報交換、ミニライブもやります。



やってみようをやってみて

1月のやってみよう会議では、これまで2年間の活動を振り返る機会を設けました。「なぜやってみようと思った？」「チームでやってみてどうだった？」「やってみてうまれた気づきは？」全部で「7つの問い」を立て、メンバー間で思い思いに話し合いました。内容については、3月11日（土）の「やってみよう祭り」で報告いたします。まちづくり活動に取り組みたい方や既に取り組みされている方、ぜひご参加ください。



日 程 2/18, 3/11*
時 間 13:00～15:00 場 所 男山公民館 3階大会議室 *3月は成果報告会を開催。
● 見学・参加を希望される方は、だんだんテラス事務局【辻村】までご連絡ください。
● 会議の様子や内容は、だんだんテラスの Facebook ページにてご覧頂けます。

クローズアップ
だんだんくくく だんだんテラスで活動されている方を紹介

だんだん句会



参加者がみな集中している時の空気が、とても居心地のよい場をつくっています。

〈〈〈 活動の経緯は？
俳句を通じて地域で交流したいと思いだんだんテラスに相談しました。「句会に興味がある」という方とラジオ体操で出会ったのがきっかけ。

〈〈〈 活動の特徴は？
指導者を招いての句会ではなく、「自分たちで」講評し合っています。そのスタイルがだんだんテラスに通じる所があると思い、名を「だんだん句会」と名付けました。

第二十六回 だんだん句会 選句
飛び石に 踞りおり 雪うさぎ
見舞ふ度 小さくなる 母雪唄い
第二十七回 だんだん句会 選句

悦 千恵

ハガキ絵教室

実施日：毎月第2、第4日曜日
時 間：10:30～11:30
参加費：600円

のら猫不妊手術相談会

主 催：八幡地域ねこを考える会
実施日：毎月第3木曜日
時 間：13:00～16:00

だんだん通信2月号

発行日：2017年2月1日
発行元：だんだんテラスの会
編 集：辻村修太郎 / 団地再編プロジェクト
奥野 智士 / 関西大学大学院
中居 節子 / 住民記者

開催日 >>>> 毎月第3水曜日 13時半～
メンバー >>> 団地の方、戸建の方、商店の方等、お住まいの地域や年齢は様々です。

男山地域の災害について考える

八幡市の北部地域及び東部地域は、木津川左岸の地形の特質上、再三の水害に見舞われてきました。一方、男山地域は、丘陵地であるため、水害の発生する可能性は極めて低いと想定されています。水害発生時には、他地域の支援機能を果たすことも望まれています。(図1)

次に震災についてです。今後30年以内にマグニチュード8〜9クラスの規模の地震発生確率が70%程度とされている南海トラフ巨大地震について、八幡市の最大震度は6強と指定されています。(八幡市防災ハザードマップを参照)

平成7年阪神・淡路大震災、平成23年東日本大震災の経験を経て、特に防災意識が高まるこの時期、各地で災害に備えた防災訓練が開催されています。

「男山やってみよう会議防災チーム」は、地域の防災訓練や催しに参加し、災害時に役立つ情報(キッチン用品を使った怪我の応急処置や火起こしの方法等)を発信しています。地域に暮らす1人1人の意識醸成で防災力の向上を目指しています。

図.1 男山地域の災害危険・防災施設配置図



アルファ米は湯や水を注ぐことで食べれる非常食。災害時を想定して、調理してみるのも備えとなる。

新連載 40年前は... vol.1

私はここで育ててもらったんですね。

中西 久子
Nakanishi Hisako

S47年八幡第二小学校、S52年八幡第四小学校、共に開校時赴任。13年間勤務。



全校児童40人から1学年400人の学校へ

昭和47年(1972年)に男山がまちびらきし、八幡町初の新設校、八幡第二小学校の開校と共に赴任しました。

男山団地の開発は、公団(現UR都市機構)としても大きな事業だったと思います。近畿圏外からの転入も多く、言葉が通じずとまどう事もありました。

採点プリントの返却後「なおしなさい」の言葉に、「訂正する子」「片付ける子」に別れびっくりした事もありました。

小さな1年生400人(9組)、遠足に行くにも、運動会の体形を考えるのも、工夫が必要でした。

最大全校1,800人の府下一のマンモス校、日々大勢の子ども達と教職員が必死に過ごしていたのが懐かしいです。

憧れの団地暮らし

こども達も保護者もキラキラしていました。「新しい生活が始まる」というような。ある意味、団地に暮らすことには憧れもあったんでしょうね。

新しくできる団地には、コミュニティはありませんでした。その状況でなんとか自分たちのコミュニティをつくらうとする動きがあったように思います。

その中心が学校だったように思います。学校側が特に何をするといったこともなかったですけど、当時は子育てをしている家庭がたくさんだったので、学校を介したつながりが多くありました。

関西の団地ならではの良さがあったんじゃないか、互助的、活動的なまちとなっていたように思います。

男山に育ててもらいました

高度経済成長期、バブル期、その後、と時代の流れと一緒に男山で色んな経験をしました。

私も教師をしながら子育てをしていたので、自分の子どもの運動会には行けませんでした。ただ担任をしていた元保護者の方が「先生の代わりに行ってきてあげるよ」と。私の代わりに運動会に行つて、子どもに声をかけてくれました。

自分の行いが回り回ってくることを教えてもらいました。男山に来て13年間、ここ男山で育ててもらったんですね。教師としても、私自身としても。

聞き手：辻村修太郎

2017年1月12日 だんだんテラスにて

学校中を不健康にしようとたくらんでいる

「悪の親玉“ふけんこう”」がついにヘビ型ふけんこうビームの開発に成功！そんな学校の危機に立ち上がった「やわたレスキュー隊」は得意のダンスでみんなの健康を守れるのか！



みんなの「健康」を守れるかー



※「生活単元学習」について
特別支援学校で取り組んでいる学習で、生活力を高めるために必要な力を身につける授業の一つです。今回は、この「クラス自作ビデオ」を制作するというを題材に、様々な学習を進めてきました。

京都府立八幡支援学校 クラス自作ビデオ上映会

京都府立八幡支援学校中学部の生徒5名が※生活単元学習で制作した『それいけ！やわたレスキュー隊』の上映会をだんだんテラスにて開催します。
日時…平成29年2月17日(金) 10時30分～
場所…だんだんテラス 申込…不要

DIY 団地 \ココロミタウン/
男山 新住民の つぶやき

今は「僕たちにもうモノはいらない」という本が売れ、シンブルな生き方をしようとする人が増えています。いくら経済が成長しても、物があふれても、人々を幸せにしないことに気がつき始めた時代です。

自分の居場所を心落ち着ける空間に整える、生活の基本の一つです。URがココロミタウン(模様替え申請により原状回復義務の免除)を打ちだした機会を利用する人たちも多いのではないのでしょうか。

改修の際、こんな事をして頂いたらいいなと思いついた事を書いてみます。例えば、お風呂は床の高さをあげて、入りやすい安全なお風呂がいいと思います。冬の寒い時期、ヒートショックの事故を避ける為に温風が出るお風呂もあるそうです。カビのお掃除も大変ですね。改修の



ココロミタウン内の「DIY モデルルーム」

際にタイルはやめて、掃除のしやすい、カビのつきにくい、ツルっとした素材を使っていたければと思います。また、押入れは中段があり、使い勝手が悪く感じています。洋服かけ付きのクローゼットが標準であればとても嬉しいですね。

若い人のインテリア感覚、色彩感覚は洗練されていると常々感じています。写真のような自分らしい部屋を作って、友人を招いたり、お互いに見せ合ったり、ネットで発信したり、面白い事が色々できそうです。

改修についての相談は、だんだんテラスで開催されている住まいの相談会で、京都府建築士会の人に詳しくお聞きすることもできます。サポート体制は万全です。